

SP（模擬患者）参加によるコミュニケーション演習を行いました

令和4年6月29日（水）、岡山SP研究会より5名の模擬患者さんに参加いただき、共通基本技術Ⅰ（コミュニケーション）の演習を行いました。本演習は、看護場面におけるコミュニケーションの基本的な方法を実践することを目的としており、7月の基礎看護学実習につなげるための演習です。

普段コミュニケーションを意識することが少なかった学生ですが、模擬患者さんのところに訪室するとなると「何か話さなければ」「どうやって話かけたら良いのか」と考えてしまう学生が多くいました。模擬患者さんは学生に対して「緊張しているのがこちらにもよく伝わってきた」「優しい口調や笑顔で接してくれると、あなたともっと話がしたいと思った」「私のことを知ろうとしてくれてるのが嬉しかった」等、患者として感じた気持ちを素直に伝えてくださいました。今回の演習を終えて、学生は自分のコミュニケーションの傾向や課題に気付く機会となりました。また、看護の学習を始めたばかりの学生ではありますが、目の前の模擬患者に何か自分にも役に立てることはないかと常に考えている様子があり、看護の芽が育ちつつあることを実感することができました。

今後の教育においても、他者への思いやりと優しさをもって、患者さんに寄り添うことができる看護師となれるように、教職員一同で支援していきたいと思っております。



1人ずつ実際の場면을想定して演習を行いました



グループで振り返り、今後のコミュニケーションに活かします